



2023年3月30日

各 位

上場会社名 株式会社ダブルエー
代表者名 代表取締役 肖 俊偉
(コード番号：7683 東証グロース)
問合せ先 取締役 丁 蘊
(TEL. 03-5423-3601)

2023年1月期 決算に関する質疑応答集

当社の2023年1月期決算に関して、発表以降に株主、投資家などの方々からいただいたお問い合わせ、感想についてその内容と回答について、以下の通りお知らせいたします。なお、本開示は、市場参加者の皆様のご理解を一層深めることを目的に当社が自主的に実施するものであります。

決算内容の詳細につきましては、末尾<ご参考>に記載しております決算短信及び決算説明資料をご覧ください。

Q1：「ダブルエー」が前期比で12%増収に対し1.6%増益ですが、「卑弥呼」は前期比で23.9%増収に対し214.3%増益した要因を教えてください。

A：各社の営業努力とは別に事業構造上の違いによる要因がございます。当社グループの商品生産にあたっては、当社基準をクリアした生産管理体制を保有するパートナー工場に製造を委託することで自社商品の量産体制を確保しておりますが、卑弥呼の一部商品はダブルエー経由で海外仕入をしているため、為替による影響はダブルエーが吸収する事業構造となっております。そのため今期は歴史的な円安進行により卑弥呼に利益が偏りました。一方、急激な円高が進行した際はダブルエーの利益が増加する見通しです。

Q2：重点施策として「オンライン強化」を挙げ、今後オンライン化率が30%程度まで伸長可能と見通した点について根拠を教えてください。

A：当社1店舗当たりの取り扱い商品数は約50アイテム程度となります。しかし、オンライン販売においては商品数に物理的な制限が存在しないため、これまで販売できなかった商品の展開が可能となりました。例えば、レイン商材やスノーブーツなどの季節性・地域性の高い商品などがございます。今後は、これまで店舗での取り扱いが難しかった商品の開発を推進しジャンルを拡大することで、オンライン販売の割合もさらに伸長させていきたいと考えております。

Q3：今期の全体売上高のうち、「MISCH MASCH」事業が占める割合について教えてください。

A：前期の「MISCH MASCH」の年間売上は20億円弱です。前期の期初時点の店舗数は20店舗ありましたが、その後3店舗減少し、吸収合併時の店舗数は実店舗で17店舗となりました。そのため、今期の売上目標としては店舗販売とオンライン販売をあわせて、16～17億円程度を目指していきたいと考えております。全体売上が増加する中、店舗の絞り込みにより、売上高が減少しますので、全体売上に対する割合は約10%弱となります。今後、婦人服市場について知見を高め当事業の成長を推進して参ります。

Q4：プロパー価格での販売に注力し、増益とのことですが、「ORiental TRaffic」の顧客単価はどのように変化したか教えてください。

A：「ORiental TRaffic」についても、前期は、プロパー顧客単価での販売にこだわっておりましたので、顧客単価は上昇しました。ただし、我々は、必ずしも顧客単価のみにこだわっているわけではありません。新型コロナウイルス感染症の流行以前と現在ではセールなどの施策手法や期間などに違いがあります。その時々の消費環境に合わせて売上向上を目指すことを最優先しております。ついては、人気の高い商品の販売、新たな商品開発を常に推進し、売上全体の増加に努めて参ります。

<ご参考>

- ・2023年1月期 決算短信〔日本基準〕(連結) 2023年3月17日公表
- ・2023年1月期 決算補足説明資料 2023年3月24日公表

以上

免責事項

- ・本資料は、当社の企業説明、決算説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資を勧誘することを目的としたものではありません。
- ・本資料は、2023年3月24日公表の2023年1月期決算の内容に関して頂戴したお問合せ、感想などの内容に基づき、一部表現を修正して公表するものであります。
- ・本資料に記載される情報は、いわゆる見通し情報を含んでおり、当該情報は本資料公表時点における当社の見解であり、将来に関する記述につきましては、今後様々な要因により変動する可能性があることをご承知おきください。